



2009 卒業



JCI Junior Chamber International Nishinomiya
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

社団法人 西宮青年会議所



09年度卒業生
今井良昌/植木伸隆
小林英明/北川泰寿
津久井進/瀬尾進
中村憲人/長谷川孝
宮本誠二郎

あなたの発想と
考え方で、JCが
変わり、地域が
変わる。



2009年度テーマ・スローガン

巧妙且つ大胆に

～潔い覚悟、変革する勇気、戦略的かつ攻撃的な発信～



2009年度を終えて「ご挨拶・卒業生に送る言葉」



社団法人 西宮青年会議所 第59代理事長 平山 伸吾

ご卒業を迎えられた9名のJAYCEE、本当におめでとうございます。期間の長短にかかわらず、卒業というひとつの大きな節目を迎えられました。

青年会議所は入会より卒業の方が難しいというのが私の持論ですが、身を以てそれを体験され、見事にそれを達成されました。その高い志に心より敬意を表します。

さて、現在の社会情勢を見渡してみますと、我が国日本はこの先どうなっていくのだろうかという不安を抱かざるを得ません。下降一途の経済情勢や破綻しそうな国家予算、混迷を極める政治情勢や民間とかけ離れた感覚の役得を固持しようとする官僚。親が子を子が親を殺すという形態や自分だけが良ければという思考を極めた犯罪傾向。増え続ける自殺者の数。そして、明らかに世論操作をしている各メディア。できれば綺麗なことを記述したい。しかしながら、悲しいかな我が国の現状がこうである以上、体裁の良い上辺の議論はJCにはもう必要ないし、現実を見据えて述べるというのが私の考え方でもあります。私共が少年期に誇りに思った経済大国の姿は見る影もなく、この国に住まう子供たちは我々の少年時代と同様に夢を描き、早く大人になりたいと胸をふくらませ生活できているのだろうかと思し訳なくさえ思ってしまう。ニートやフリーターをあざ笑う前に、ネット難民を見て見ぬふりをする前に。私は、あなたは、JAYCEEとしてこの現状にどんな社会貢献ができているのでしょうか。

やろう！できる！信念を持って。現状に不満を感じるなら、居酒屋で与太話をするのなら、テレビや新聞を見てぼやくなら、打開するべく本気で立ち上がろう！

考えてみてください、そこに真剣に向き合う団体や個人がJCをおいてあるのか。

卒業してもあなたはJAYCEE、そう、生涯一JAYCEE。

何かの登場を待たないで欲しい。自らが先頭を走って欲しい。対峙するのは私やあなたしかいないと思いませんか。しっかりと向き合っていこう、明るく豊かな日本の建国に向けて。自己を変革し、歯を食いしばり使命を果たしていこう！

在籍年数より卒業してからの人生の方が長い。JCでの知識経験をもとに柔軟に思考でき、体も健康であるはずの40代に社会貢献活動や経済活動を精一杯行っていくことが、JCの大きな価値のひとつだと考えます。卒業された9名のJAYCEE！潔い覚悟を持って、生涯一JAYCEEを貫いて下さい。

あなたが、現役の道しるべなのだから。

監事講評「一年を振り返って」

監事 高橋 正佳

果たして誰が唱えた説だろうか、歳を重ねるごとに1年の経過が早く感じられるのは人生における分母の数字が大きくなってゆくから・・・この1年が一瞬だったように感じるのは、その理論を当てはめるとまた1つ分母を増やしたという事でしょうか。

卒業生を見送り、来月にはまた新会員を迎えるこの時期、特に『出会い』というものを意識します。

もしも仮に、毎日100人ずつ新たに出会い続けたとして、西宮市民全員と出会うまで13年掛かる計算です。同じく全兵庫県民だと153年、全日本国民では3千4百年、そして全人類と出会うまでは何と18万5千年！同じ団体に所属し、同じ月日を過ごした仲間たち。この偶然の『出会い』は、まさに奇跡そのものです。この一瞬の出来事、一期一会は大切にしたいと思えます。

1年間、お疲れ様でした。



監事 大野 稔

自分自身、成長し続けているだろうか？
今年一年、青年会議所で学び人間として成長できたのだろうか？
自分にかわったのか？

皆さんはどうですか。
なぜ、多くの時間をJCに費やしているのでしょうか？
どうして、あなたは今この文章をよんでいるのでしょうか？

それぞれ、その目的は違うと思います。
そして自分の将来像や生き方にイメージをもっていると思います。
その手段としてJCを活用していると思います。
今の自分を自分の言葉でJC活動を語れるのならOKですよね。
そして真剣にこの一年、JCに関わってきた人だと思えます。
もし語れないのなら、自分を恥じてください。
そして、まだ時間のある人は残りの時間をJC活動に没頭して下さい。

どんなことでも真剣に関わったことなら、自分なりの答えを見出すことができると思います。そこに携ってきた多くの人たちもどの時代においても、変わらず多くの若者がJC活動において仲間と過ごし、その中で苦しみもがき、悩み続ける。
そして、自分なりのJCのありかたを見つけていく・・・
それがJCの魅力かな？なんて思えます。
その魅力を、自らの手でつかみ取ってください。
すぐそこにあるんです。

どうせ一度の人生じゃないですか！縁あって入ったJC！
ちょっぴり無理して、自分のスタイルで満喫してみてください。
まだ時間はありますよ。
卒業生のみなさま、すみません。

今年一年ありがとうございました。

卒業生メッセージ



2009年度ご卒業
津久井 進 君

短いJCライフでしたが、中身の濃い充実した時間を過ごすことができました。「奉仕・修練・友情」がJCの三信条ですが、まさにこれらを実践できたことが人生の中の誇りになったと確信しています。

可能な限り様々な事業に参加してみ、この西宮の地域の中でいかにJCが必要とされているかが分りましたし、それがメンバーの熱い思いと真剣な姿勢によって支えられているということも分かりました。

同期の08メンバーをはじめ、多くの友を得ることができ、これからの人生にとって貴重な宝だと思っています。今後、胸を張ってJCのOBであると言えるように、皆様のご活躍を注目しながら、西宮JCの益々の発展・拡大を祈っております。ありがとうございました。



2009年度ご卒業
瀬尾 進 君

まず初めに、3年間という短い期間でしたが本当にありがとうございました。今から振り返れば1年1年、周りのメンバーに恵まれたとつくづく実感致します。

同期の仲間が始まり、青少年委員会、そして拡大委員会と…。又、新会員にも本当に恵まれ充実した最終年度を送らせて頂いた事を感謝申し上げます。初めはなかなかJCという組織になじめず、もどかしさがありましたが、年々と自分のやるべき役割を委員会の中だけですが理解し、全うできたかな？と思います。ただ、LOMに対しては何も貢献出来ず、この場をお借りしましてお詫び申し上げます。又、同期やお世話になった方々、今年の新会員が次年度以降現役でご活躍される中、OBとして何かお役に立てる様、精進して参ります。皆様の今後のご活躍を心よりお祈り致しますと共に本当に一生の時間の内わずかですが皆様と一緒に過ごせました時間に感謝申し上げます。



2009年度ご卒業
今井 良昌 君

早いものでJCに入って5年が経ちました。この5年間で僕はJC活動において何も貢献できなかったと思います。どうしても仕事と両立できなくて各年度ごとの委員会メンバーには迷惑かけっぱなしだったなあと反省しか思いあたらないのが残念です。

ただ、この5年間で知りあった色々な方々との出会いはこれからの僕の人生において、仕事はもちろん私生活でも一生の宝物になると思います。今後もJCの3信条を忘れずに、あらゆる面で人生を全うして行きたいと思っております。

今まで本当にありがとうございました。

上村 宜道 君より

まずはじめに、私は津久井さんと08同期である事を誇りに思います。あつという間の2年間、初めは「同期の中でも年齢の差で俺より先に卒業していく人がいるんだ…」くらいの気持ちでおりましたが、とうとうその日がやってきたんですね。キーボードを打ちながら、今の私の心境は複雑というか正直本当に、悲しくも寂しい想いで一杯です。いろんな場所でいろんな話を沢山しましたね。津久井さんは仕事が忙しい中、新会員時代の例会打ち合わせや、08同期の集まりの時には時間の都合をつけてくれて、どれだけ遅くなくても必ず出席してくれてましたよね。我等08同期は津久井さんの心と友情を十二分に受け取り今日あなたを送り出します。そして、私の書きたくなかった事ですが、ご卒業誠におめでとうございます！そして本当にありがとうございます！卒業しても一生の友人として付き合ってくださいよね？私の嫁にはそう言っちゃいましたよ。それではこれからの津久井さんの益々のご活躍とご家族皆様のご健康ご多幸を祈念いたしまして私からの贈る言葉とさせていただきます。PS いつ呑みに行きましょうか？

吉住 正基 君より

津久井先生。1年半前に初めてお会いした日が、随分前だった様な、つい先日だった様な変な感覚です。1年半ずっと事業で一緒に過ごしていたその間、色んな顔を見せて下さいましたね。ラーメン通、カラオケ、微妙な親父ギャク。私の弁護士観を変えてしまうような、言動も多々ありましたが、事業での議論では度々、弁護士らしさを感じました。ご卒業なさっても、これまで通りの先生で、これまで通りのお付き合いをお願いします。

阪下 元康 君より

瀬尾さん、3年間のJC活動お疲れ様でした。そして卒業おめでとうございます。08青少年では本当にお世話になりました。瀬尾さんが居てくれたからこそ、あれだけ楽しい委員会が出来たんだと今でも思います。いつも皆を笑わせてくれた、大人の風格でまとめてくれた、時々怒られたこともあったけど、本当に楽しかった。

全てが最高の思い出です。瀬尾さんの卒業は本当に寂しいので、たまには頑張る後輩の姿も見に来て下さいね。

大迫 康二 君より

最終年度は会員拡大委員会副委員長として、本当に十分すぎる活躍でしたね。せおちゃんの背中には、09新会員全員の胸に一生分刻まれているはずですよ。そんな09拡大・07同期・そしてJCで知り合い仲良くなった全ての仲間に見送られ卒業される事をうらやましく思います。本当におめでとうございます！！そして一生宜しくお祈りします！！

長沼 隆弘 君より

5年間のJC運動お疲れ様でした。新会員当初、ほぼ財布を持たずに新地での懇親会を明け方まで付きまとった彼を快く？許された寛容な今井君には脱帽です。また、新会員当初の委員会の打上での“どM”の彼とのコンビネーションは忘れられません。委員会や担当例会での活躍と、ひたむきな活動をされているのを同期がどんどん卒業していく中、うれしく思っておりましたが、また、一人卒業です。この縁を大切に今後ともよろしくです。同期の一人より。

遠藤 剛 君より

ご卒業おめでとう御座います。今井君とは、2005年度同期でもあり入会月も同じ3月度入会でした。あれから5年は、あつと言う間に時間が過ぎ、無事卒業を迎えられる事を、同期として大変嬉しく思います。新会員の拡大委員会、07年度の研修委員会が同じ委員会で活動させて頂きました。共に苦勞、共感できた仲間が卒業すると、寂しさを感じます。卒業してからも、大好きなゴルフに飲み会に誘って頂ける事を期待しております。

卒業生メッセージ



2009年度ご卒業

小林 英明 君

2006年1月、右も左も分からないまま、西宮JCに入会させて頂き、丸4年在籍させて頂きました。JCライフの中でたくさんの経験と思い出、そして多くの人との出会いがございました。それら全てが私にとってかけがいのない宝物となりました。

また08年に地域愛実践委員会の委員長、本年度に事務局長をさせて頂いた事は大きな糧となりました。そんな中で色んなプレッシャーで押しつぶされそうになった事もありましたが、委員会メンバー、周りの先輩、後輩、そして同期の人達に支えられ、何とか全うすることができました。率直な今の気持ちは感謝の気持ちで一杯です。

あの時JCに飛びこんで本当に良かったと思います。

皆様本当に有難うございました。



2009年度ご卒業

植木 信隆 君

6年間ありがとうございました。

思い起こせば、2004年1月西宮青年会議所に入会させて頂いた時は、全く不思議の世界だと思いました。例会時のゴング、寒い時期の京都会議LOMナイトのお出迎え、仕事を休んでまで市民祭りでのビール販売等、11月での松ケンサンバ、変な会に入会したなーで終わった一年目。その後、総務委員会3回、広報渉外委員会1回、青少年育成委員会1回と、なんとなく過ごした5年。

しかし、今考えるとその中で得たものが多かったと思います。第一に、JCに入会していなければ知り合うことのできなかつた人たちとも出会い、第二に、連帯観、協力感が得られたと思います。

この一生の財産を得る機会を授けてくれた西宮青年会議所、ありがとう。



2009年度ご卒業

宮本 誠二郎 君

不良JCマンとして待ちに待った卒業！のはずが、いざその日を迎えると、何とも言えない寂しさを感じています。振り返れば、遠く離れた勤め先を退職し地元に戻ってきた2003年、なにかきっかけを掴もうとして入会させて頂いたのが西宮青年会議所でした。ゴングを鳴らしスタート、そして国歌斉唱…初めての例会は絶句の連続だったのを、今でも鮮明に覚えています。

商売が好きで、「忙しいからJC活動なんてやってられへん！」とつぶやいていたはずなのに、気づけば会員大会事務局長・まちづくり委員会委員長という大任を任せて頂きました。実はこの委員長としての経験が、今、仕事をする上でとても役にたっています。委員会をしても人が集まらない、お願い事をしても誰もやってくれない。当時、本当に苦勞し悩みました。

そして、その苦勞の結果気づいたのが、お金や雇用が絡まない組織で皆を率いていく方法はただ一つ、人間力を磨くしかないということでした。それは、今も僕の心の奥に深く刻まれ仕事にも活かされているはずなんです。言われ尽されたことですが、JCは自ら真剣に活動しなければその良さは分かりません。真剣に活動しなければ、そこで学び得るものもありません。真剣に活動しなければ、友情も得ることは出来ません。晩年、不良JCマン化してしまった私ですが、真剣に活動した時期があったお陰で、卒業を迎え、胸を熱くすることが出来ます。我こそは不良JCマンと自負する方は、卒業式にむちゃ泣きできるやう、一度でいいからJC活動にはまってください。将来きっと、何かを残してくれると思います。

隔山 泰久 君より

2006年入会。沢山いた同期メンバーの一人、たしか最初はこんな感じだったように思います。しかしここまで4年間（入会の遅い私とは実質3年）本当に仲良くさせて頂きました。昨年は小林委員長のもとで副委員長として1年間を共に過ごし、不思議と毎回必ず起きる？起こす？問題にも共に立ち向かいなんとかクリアしてきました。しっかりしているようで確実に抜けている、でもなんだか許せてしまう。なくてはならない06メンバーです。そんなところを見抜いていたのか年上なのに最初からずーっと「こぼちち」と呼ばせて頂きました。だからでしょうか卒業といわれてもなんだかピンときません。「来年何する？」「手伝ってよ！」こんな会話ができないのは本当に残念です。これからは卒業生として友人としてどうぞよろしくお祈りします。

天羽 大介 君より

ご卒業おめでとうございます。06の同期として入会した時は多くのインパクトのある人が多い中で英明さんは真面目で優しく見えた目とそれでいて面白くて皆に慕われてるすばらしい人に思いました。今年度同じ事務局になりあまり役には立てませんでした。私にとっては非常に勉強になった一年でした。まだまだこれから一緒にJC活動をするときに御卒業されるのは大変残念ですがこれからは先輩としてまた同期としてどうぞよろしくお祈りします。

石井 登志郎 君より

植木さん、いや、植木ちゃん。卒業おめでとうございます。また一人、同期が卒業していくのは、冗談抜きに寂しいものです。

国立大学卒業の歯医者さん（それも審美歯科！）とは思えないその風貌、そして場の空気を読まないマイペースさ、そんなあなたは、僕らを独特のキャラで癒してくれたものです。

植木ちゃん。卒業しても、その風貌とマイペースさはそのまま！

八木 保彦 君より

ご卒業おめでとうございます。忙しい中を懇親会の時間になっても必ず顔を出して下さっていた08総務委員会の時のことを思い出します。いつも笑顔で、後輩であり年下のスタッフメンバーの厳しい意見や要求にも応えていただいて、その広い心と植木さんだから許される？キャラは、羨ましくもあり、また頼もしくもありました。次の人生の目標は結婚でしょうが、これから始まる第二の人生も、笑顔が絶えない明るい未来であることをお祈りいたします。

平田 裕之 君より

宮本ちゃん卒業おめでとう。2003年に同期として入会し、様々な壁？！を乗り越えられ本年無事に卒業される事をうれしく思います。その反面、同じ時代を共に過ごしてきた同士の卒業に少し寂しさや覚えながら贈る言葉を考えています。宮本ちゃんには、見た目も若く、いつも冷静、はっきりとしてクールな印象でした。が、2005年に兵庫BL会員大会西宮大会の事務局長の役職を受諾（半強制でしたが）され、2006年には、まちづくり委員会の委員長として活躍されました。一度も同じ委員会の配属は一度もなく、全く別の委員会でも、お互いのJC活動をしてきたような気がします。道は違っても目的ははっきり同じであると感じたのは、2009年度日本JCに出向され、各種大会やセミナーで活躍している姿を拝見した時です。誠二郎君JCを感じました。ご卒業されても、JC活動の経験を活かし社会人として、また、西宮のまちづくりを担う専門職として、さらに飛躍されますことを祈念し、ご卒業のお祝いの言葉と致します。ご卒業おめでとうございます。

高橋 秀仁 君より

宮本誠二郎さん、ご卒業おめでとうございます。また、7年間のJC活動お疲れ様でした。宮本さんとは2005年に同期委員長として、本年は副委員長としてご協力いただき心から感謝しています。一見すると飄々として柳のようになややかな行動と柔軟な思考をお持ちでいながら、こころ一番という時に「ピシッ」と物事の本質に鋭く切り込み、熱い言葉で語る宮本さんは委員会のバランス師でした。2度委員長をされながらも、とても謙虚な宮本さん。年下の私に「しゅうじんさん」と言って、委員長として立てただけだした事、こんなに忙しい委員会に最後までご尽力だけだした事を心の底から感謝します。今年の委員会は私の中でベスト委員会でした。ご卒業後もますますご活躍されることをご祈念申し上げます。ご卒業誠にありがとうございます。

卒業生メッセージ



2009年度ご卒業

北川 泰寿 君

2002年に入会して以来、なかなか例会や事業、委員会に出席させていただくことが難しく、皆さんにもご迷惑をお掛けしましたこと、まずはお詫び申し上げます。その中でも多くのことを学び、経験させていただきました。また、何よりも多くの友情をいただくことが出来ました。感謝申し上げます。

JC活動の中でいただいたすべてのものを活かして、これからも地域のため、人のために貢献してまいりたいと存じます。来年は西宮青年会議所が60周年・還暦という目出度い年を迎えますが、この節目を機に更なる発展を遂げられますことを祈念し、また卒業後もOBとして、また同じ志しをもった者として応援させていただくことを誓い、メッセージとさせていただきます。



2009年度ご卒業

中村 憲人 君

2008年度に入会させて頂いたJCも終わりを迎えます。川島先輩に無理矢理入れられた形で入ったJC活動も、初年度同期達との市民祭り・例会等を通じ、仕事以外のところで仲間達と一つの方向に向かって協力することの大切さを学ばせて頂きました。

そして、自分自身の人生の転機となった最終年度での日本JCへの出向。山本副理事長の協力の下、参加させて頂いたのですが、本当の意味でのJC活動を学ばせて頂いたと思います。

最初は嫌々やっていたものが、最後はかけがえのない仲間達と離れることを物凄く淋しく感じます。

最後に、今後まだまだ活動を続けられるメンバーの方々には、終わりあるJC活動ですので、悔いの残らないように精一杯頑張ってもらいたいと思います。



2009年度ご卒業

長谷川 孝 君

長いようで、あっという間のJC生活でした。入会后、まず目の前に立ち塞がったのは仕事とJCの位置付けの仕方でした。ほとんどのメンバーが経験するであろう事柄です。例外もなく私の場合も思い悩みました。20代から走り続けてきてやっと結果が出始めてきた頃です。一時は退会

も考えました。しかし、同期のメンバーや先輩に支えられ最後までやってこれました。そして、適当に無理しない程度にといい聞かせながらも、無理してやってきました。無理だからといって自分を責めないことです。続けることが大事です。仕事の性質上、デメリットも多少はありました。しかし、それ以上のものをJCは与えてくれました。感謝しております。有難うございました。

鳴見 裕貴 君より

北川君、ご卒業おめでとうございます。最初の出会いは衝撃で県会議員の先生がいるので何かの講師で呼ばれているのかなと思っていたら、なんのなんの同期で入会してるじゃありませんか！！そのような衝撃的な出会いから7年の時間が過ぎ、もう卒業なんですね。これで02同期のメンバーは平山理事長と僕だけになってしまいました。とても悲しいです。これからは北川先輩は地域の為、社会の為に議員活動を頑張って頂きまして、時には現役のメンバーに叱咤激励して頂きまして幸いです。

飯森 良光 君より

ご卒業おめでとうございます。忙しい中を例会・事業・委員会・懇親会と何とか頑張ってお顔を伺っていた姿をいつも頼もしく拝見させていただいておりました。推薦いただいたお一人・先輩として誇りにも思います。これからも良き相談者として、私だけでなく、現役メンバーを見守っていただきますようお願い申し上げます。

山本 吉大 君より

初めて憲ぞうさんを見た時、その独特の雰囲気によって圧倒されてしまいましたが、少し話をすると、とっても気さくでいるんな引出しの多さにびっくりしました。政治経済から始まり外交防衛問題や、果ては裏社会のことまでありとあらゆる知識を有し、中途半端な政治家顔負けの知識と雄弁さを兼ね備えているなあと思ったことを今でもよく覚えています。

研修事業の企画や例会の企画では、その知識の豊富さと即行動！のリーダーシップをみんなが感じたことだと思います。そして宮本君との日本JCへの出向も最初は何のことかわからなかったと思いますが、全国を駆け回られて本当にお疲れさまでした。ある日一緒に呑んだ時に「もう少し早く入会していたら理事長を狙ったわ。」という一言を聞いた時、出向を推薦して良かったと思いますし、本当に出会えてよかったと心から思いました。少し短いJCライフだったかもわかりませんが、その分完全燃焼で卒業できたのではないのでしょうか。ご卒業おめでとうございます。そしてこれからもよろしくお祈りします。

伊藤 京一 君より

のりぞーさん、ご卒業おめでとうございます。去年の夏にのりぞーさんから「なあ一緒にJC行こうやあ、なああ」と誘われ、振り返ってみると08拡大委員会、09研修委員会と、ずっと一緒でした。以前から仕事でお世話になっていますが、この2年足らずの期間にのりぞーさんの違う一面を色々拝見できました。そのカリスマ性あふれる決断力で08メンバーを引っ張っていただき、本当に楽しいJCライフを過ごすことができました。ありがとう。08メンバーにとって永遠の兄貴分ののりぞーさん、卒業されてからの益々のご活躍を僕たちは楽しみにしています。

矢嶋 嘉彦 君より

長谷川君、ご卒業おめでとうございます。長谷川君ではなくハセでいきます。2001年に同期で入会して以来、9年が経ちました。長かったような、短かったような、いろいろあったよね。最初に出会った時は、「なんて男前やねん！この顔で歯医者かい！卑怯やわ！」ってずっと羨ましく思っていました。あのころは、お互い独身でいろいろ遊んだよね・・・あまり詳しいことは言えませんが・・・お世話になりました。そして、妻と出会えたのも、ハセのおかげです。ありがとう！夫婦共々感謝いたします。卒業してからも家族同士仲良くしましょうね！最後に、長いJC活動ご苦労様でございました。これからも更なる発展を心より祈念しまして贈る言葉とさせていただきます。

鈴木 康司 君より

長谷へ！卒業おめでとう！！
2001年1月の入会から丸9年ですか、こうして改めて振り返ってみると「長かったなあ～？早かったなあ～？」どっちになる？どちらも感じひん？懐かしいねえ、新会員の夏ごろは、2人で酒飲みながら「もうJCやめよ！やってられへんわ！」と愚痴をこぼしたよな。職種は違うのに、よく色々仕事の悩みもお互い話したよな。結構悩みは一緒に共感できたし、生年月日がお互い1日違いやからか、妙に親近感があった…。人生では1年先輩やのに、タメ口きいて…。すいません。今年は特に副委員長で支えて頂いたのに、こき使って…すいません。でも寂しいから、もう一年待ってえ～。留年してえ～ってほんとに思います。最後に思うことは、JCに入会してなければ、貴方に出会えていないことです。貴方に出会えて良かった。JC活動お疲れ様でした。卒業おめでとう。

2009年度西宮青年会議所の活動

1月

新年名刺交換会
1月度例会「新春賀会」
京都会議
京都会議LOMナイト
定時総会
研修（公開講演会）



1月度例会・新春賀会



京都会議



2月

2月度例会
全国一斉署名運動
研修（講演会）



2月度例会



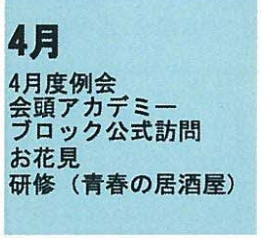
全国一斉署名運動

3月

3月度例会
日本JC総会
県議会JC議員懇話会
EWC表彰式



3月度例会



4月度例会



会頭アカデミー



青春の居酒屋

4月

4月度例会
会頭アカデミー
ブロック公式訪問
お花見
研修（青春の居酒屋）



5月

5月公開例会（中止）
憲法タウンミーティング
研修（JCカルタ）



JCカルタ

6月

6月度例会
ASPAC 長野大会
「THE PRIDE塾」
阪神7JC 合同事業



6月度例会



ASPAC



阪神7合同事業

7月

7月度例会
サマーコンファレンス2009横浜
近畿地区会員大会水口大会



7月度例会



サマコン



函館JC姉妹結調印式



近畿地区会員大会



8月

8月納涼例会
第34回にしのみや市民祭り
兵庫ブロック会員大会
衆議院議員選挙マニフェスト型公開討論会



8月度例会



市民祭り



会員大会



公開討論会



9月

9月度例会
にしのみやTERAKOYA
県知事との懇談会
研修 (JC青経塾)



9月度例会



にしのみやTERAKOYA



J.C青経塾

10月

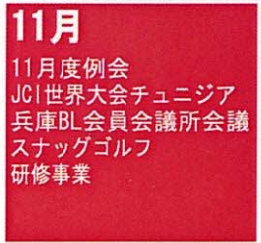
阪神7合同例会
全国会員大会那覇大会
西宮JCOb会



阪神7合同例会



全国大会



11月

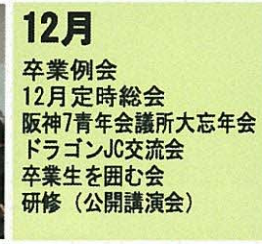
11月度例会
JCI世界大会チュニジア
兵庫BL会員会議所会議
スナッグゴルフ
研修事業



11月度例会



研修事業



12月

卒業例会
12月定時総会
阪神7青年会議所大忘年会
ドラゴンJC交流会
卒業生を囲む会
研修 (公開講演会)



ドラゴンJC交流会



定時総会



卒業例会





次年度理事長予定者挨拶

2010年度 社団法人西宮青年会議所
第60代理事長予定者 平田 裕之

2010年度 LOMテーマ・スローガン 「品格と責任」 ～ 誇りと伝統の継承、信じる心が未来を創る ～

本年度、「巧妙且つ大胆に」をスローガンとして、一年間活動して参りました。

皆さんにとっての「JC」はいかがでしたか。メンバー一人ひとりそれぞれのJC活動があり、それが集合体としての西宮青年会議所の大きな運動につながってきたのだと思います。長期一党支配も崩壊し、私たちを取り巻く経済環境も非常に厳しく、まさに「変革」が時代の言葉と感じられる年でした。そのような時代に青年会議所運動を推進するには、若さを持って情熱を注ぎ、仕事やJC運動に取り組んでいかなければなりません。何事も、前向きに取り組むことが、大きな壁も打ち破る事になると私は確信しております。

そのような時代にJC活動を全うされ、ご卒業されます9名の先輩の皆様へ、敬意を表すと共に、ご卒業を心よりお慶び申し上げます。嬉しく思う反面、同志として卒業という形でお見送りすることを寂しく思っております。卒業というのは一つの通過点であり、今後は、青年会議所で培われた経験や「宝」を活かしながら、様々な場面で活躍されますことを期待しているところであります。

最後に今後とも西宮JCの特別会員として、現役メンバーに対しまして暖かくそして、厳しくご指導賜りますようお願い申し上げます。同志としてのご厚情に深謝し、簡単ながら挨拶とさせていただきます。

お問合せ先 社団法人西宮青年会議所 事務局

〒662-0854 兵庫県西宮市樫塚町2-20 西宮商工会館5F

TEL:0798-33-1615 / FAX:0798-26-5202

URL: <http://www.nishinomiya.jc.or.jp/>

E-mail: info@nishinomiya.jc.or.jp